

稲毛区地域福祉計画

推進協議会だより No.13

平成 24 年 10 月 1 日発行

編集：稲毛区地域福祉計画推進協議会事務局

稲毛区穴川 4-12-4（稲毛保健福祉センター内）

TEL：284-6282 FAX：284-6193

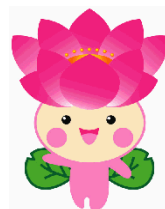


平成 24 年度 稲毛区地域福祉計画推進協議会 に分科会が設置されました

今年度取り組む 2 つの重点項目

- ボランティアの人材育成（第一分科会）
- 安心カードの作成と活用（第二分科会）

★区推進協議会の目的・役割★



「花の都・ちば」
シンボルキャラクター
ちはなちゃん

- (1) 区地域福祉計画の取組状況の把握
- (2) 地域福祉の活動団体間の情報交換、連絡調整
- (3) 行政機関や社会福祉協議会との連絡調整
- (4) 区の地域福祉計画に関する広報

平成 24 年度第 1 回稲毛区地域福祉計画推進協議会（以下区推進協）が、7 月 7 日（土）に稲毛保健福祉センター 3 階大会議室において開催されました。

今年度第 1 回の区推進協では、委員の互選により、委員長に渡邊委員（千葉市社会福祉協議会千草台中学校地区部会）、副委員長に瓜生委員（稲毛区民生委員児童委員協議会）と藤川委員（稲毛区町内自治会連絡協議会）が選任されました。続いて、地域振興課から稲毛区基本計画について、事務局から地域福祉計画に係る実践状況、重点項目の取組み、分科会設置、今年度のスケジュール等についての説明が行われました。

平成 24 年度第 2 回区推進協は、9 月 11 日（火）に稲毛保健福祉センター 3 階大会議室において開催されました。

本会議開催に先立ち、委員各位が「ボランティアの人材育成（第一分科会）」、「安心カードの作成と活用（第二分科会）」に分かれ、事例発表、質疑応答、情報交換等を行いました。その後の本会議では、事務局より、地域において 24 年度から新たに取組まれた実践事例の報告、続いて第一・二分科会の概略、検討内容についての説明が行われ、委員間の情報共有が行われました。

稲毛区地域福祉計画推進協議会

委員長 渡邊 志げ子



この度、稲毛区地域福祉計画推進協議会の委員長に選出され、微力ですが皆様のご協力を得ながら役割を果たしてまいりたいと存じます。どうぞよろしく願います。

さて、この稲毛区地域福祉計画推進協議会は、平成 18 年 7 月に第一回協議会が開催されて 6 年目を迎えました。いま福祉をめぐる情勢環境は、大変きびしいものがあります。こうした時こそ地域が丸となって協力し合い、誰もが安心して暮らせる「まち」に・と願うばかりです。

地域福祉向上のために大きな役割を果たしているのは、原則として中学校区を単位に組織されている千葉市社会福祉協議会の各地区部会です。地区部会は、各町内自治会、民生委員児童委員協議会、学校、地区内の関係団体等で構成されており、まさに面単位で活動ができています。

稲毛区内の各団体の代表、公募委員の方々を含めて、本協議会の更なる発展のため、共に協力し合ってまいります。

活動実践事例の紹介

【第一徳川園自治会いきいきサロン】

第一徳川園自治会

緑が丘地区部会の地域である、稲毛区宮野木町にある第一徳川園自治会で、月に一度高齢者を対象とした「いきいきサロン」を実施しています。

第一徳川園自治会いきいきサロンを中心となって実施している福祉部代表の方にお話を伺いました。

いきいきサロンのメニューについても、福祉部の方々がアイデアを出し、講師の依頼や関係各所に連絡を取りながら実施しているそうです。23年度のいきいきサロンのメニューには、東日本大震災も記憶に新しい中、「災害時72時間生き残るための対策」と題して、災害ボランティア団体の方からお話を伺ったり、認知症に対する理解を深める研修会、また、高齢者の方々のバランスの良い食事の摂り方や日々にする水につ

いて、県水道局の職員の方を招き、その安全性などについて知識を深める機会を企画しています。他には、「映画会」「民謡で呼吸筋アップ」「足のストレッチ」など、楽しみながらも知識習得や健康増進につながる企画を実施しています。以前、落語会を実施したときは70歳以上の方が70名も参加し、その様子は千葉市生涯学習センター発行の情報誌に大きく取り上げられています。

今回取材でサロンにお伺いした際には、高齢者が寝たきりになる原因として大きな割合を占めている「転倒の予防について」をテーマに、終始笑顔の絶えない元気いっぱいの健康体操が実施されていました。

「身近で色々なものに接してもらいたい。より広く色々な情報を提供していきたい。直接聞いた話は心にもしみてくる、直接色々な話を聞ける機会を作っていきたい。身近な地域の問題に対応できるようなサロンにしていきたい。」とおっしゃっていました。



【小中台西地区部会いきいきサロン】

小中台西地区部会

小中台中学校区をエリアとし、町内自治会が六十数ヶ所というマンモス地区で、昭和60年に「小中台地区部会」発足。以来平成20年まで住民増加（12,000世帯を超える）のもと、活動を展開して参りました。

様々な問題点を解決すべく、平成21年度に東・西地区と二分割され、現在に至っています。小中台地区部会当時から実施されていた小中台新向会「いきいきサロン」ですが、毎月第3火曜日に年間11回（8月休み）小中台新向会自治会館で開催され、参加者は原則として70歳以上の方とし、楽しい時間を過ごしていただけるように願って実施しております。

月々によって、小物作り、ゲーム等を実施しておりますが、季節ごとにお正月、クリスマスといった事柄に合わせた催し等も行い、参加者の皆様に喜んでいただいております。

お茶をいただく折には、スタッフの手作りケーキなどお菓子をほおぼりながら、お話しが弾み、帰路につくのが遅くなる場合もあります。

このような高齢者「みまもり事業」として、当会は今年度特に力を入れて推進するため、スタッフの皆さんと話し合いを重ね、現在2～3の自治会でサロンの催しが実施されています。年間を通して継続することの難しさはあると思いますが、みまもりながら応援して行きたいと願っています。

最後になりましたが、このような催し物に、男性の参加者が非常に少数であることが悩みの種です。当会に良い解決法を教えいただけますようお願いいたします。

（小中台西地区部会 部会長 武市康子）



【ヤルズの会】

緑ヶ丘地区部会（ゴミ出しボランティアグループ）

ヤルズの会とは、緑ヶ丘地区部会内で活動しているボランティアグループの名前です。緑ヶ丘地区部会で実施されたボランティア講座を修了した有志のメンバーで結成されています。各町内自治会で、どのような活動を行うか話し合い、活動内容を決めています。

今回は、朝のゴミ出し活動を行っている稲毛ファミールハイツにお伺いしました。現在、ファミールハイツ自治会のエリアでは週2回、火曜日と金曜日の朝に高齢者世帯のゴミ出し活動を行っています。集合住宅に暮らす高齢者にとっては、階下のゴミ集積所までゴミを出すだけでも大変な苦勞です。ヤルズの会では、高齢者の方でゴミ出しを希望する方の自宅前に出されたご

み袋を回収し、ごみ集積所まで運ぶという活動をしています。

かつては無償で行っていましたが、それではかえって申し訳ない考える利用者の方もあり、2011年11月からは300円／月で実施しているそうです。

「それ自体は時間もさほどかからない活動ですが、回収の時間に遅れないよう、そしてなにより継続して活動していくことが大事だと思っています。」とヤルズの会代表の緑ヶ丘地区部会の渡辺さんに教えていただきました。



（家の前からゴミ袋を回収）



（ゴミ集積所までゴミ袋を運ぶ）

【いきいきサロンのなかで】

稲毛地区部会（にこにこ体操）

年を重ねるということは、歯が弱くなる、めがねを必要とする、耳が遠くなってくるとさまざまな不自由なことが起こってくる。そして、ひとり暮らし、ふたり暮らしの高齢者は、外に出るのが億劫になり、同時に元気で人に迷惑をかけずに生きることが必要となる。

それには家から外に出て、友達を作り、仲間と遊ぶことができたならとサロンのなかでにこにこ体操をはじめた。

希望者が大変多く、75歳以上の高齢者32名の方々が休むこともなく、水とうを手に、にこにこと稲毛公民館に集まってくる。



（まずは座った状態から体を動かします）

もう、はじめて3年になる。ボール運動、長い棒、短い棒、セラーバンド、手拭いとさまざまなものを使って、笑い声と共に楽しく運動する。

今では、病院に行く回数が減ったという。毎月開催日の午後2時30分に集まってくる姿は、夏休みの子どものラジオ体操のようだ。高澤綾子先生のご指導のもと、あっという間の充実した60分が過ぎてゆく。

広い会場があったら、もっと大勢を集めて行いたい。そして稲毛区全体に、また千葉市全体に広がったら、後期高齢者医療費も安くなるのではないのでしょうか。

（稲毛地区部会 部会長 飯田禮子）



（手拭いを使った体操）

千葉市あんしんケアセンターが増設されます

千葉市あんしんケアセンターは、地域で暮らす高齢者のみなさんを、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的に支えるために設けられました。みなさんがいつまでも健やかに住みなれた地域で生活していけるよう、千葉市あんしんケアセンターを積極的にご利用ください。

- ① 千葉市あんしんケアセンター山王（旧：千葉市あんしんケアセンター双樹苑）
所在地：稲毛区山王町162-1 TEL 043-304-7740
(担当地域：柏台、小深町、山王町、長沼町、長沼原町、宮野木町、六方町)
- ② 千葉市あんしんケアセンター天台（旧：千葉市あんしんケアセンターみどりの家）
所在地：稲毛区天台4-1-16 TEL：043-284-6811
(担当地域：あやめ台、作草部町、作草部、園生町、千草台、天台町、天台、萩台町)
- ③ 千葉市あんしんケアセンター小中台（新設）
所在地：稲毛区穴川3-1-1 TEL：043-216-2848
(担当地域：穴川町、穴川、小中台町、小仲台、轟町、弥生町)
- ④ 千葉市あんしんケアセンター稲毛（新設）
稲毛区稲毛東3-6-28 TEL：043-216-2831
(担当地域：稲丘町、稲毛、稲毛台町、稲毛町、稲毛東、黒砂、黒砂台、緑町)

平成24年度 稲毛区地域福祉計画推進協議会委員名簿

敬称略・50音順

No	氏名	所属団体等	No	氏名	所属団体等
1	飯田 裕子	千葉市社会福祉協議会稲毛地区部会	16	高階 光義	千葉市社会福祉協議会緑が丘地区部会
2	生島 郁子	公 募	17	武市 康子	千葉市社会福祉協議会小中台西地区部会
3	池埜 三紀	地域生活支援センター ふらる	18	種池 賀子	稲毛区町内自治会連絡協議会
4	石原 康子	千葉市社会福祉協議会緑・黒砂地区部会	19	津久井 良住	千葉市社会福祉協議会草野地区部会
5	井村 進	千葉市社会福祉協議会稲丘地区部会 ●	20	西脇 英子	千葉市社会福祉協議会山王地区部会
6	瓜生 澄江	稲毛区民生委員児童委員協議会 ○	21	原田 正隆	千葉まちづくりサポートセンター
7	小川 日出男	稲毛区民生委員児童委員協議会	22	廣石 常生	稲毛区町内自治会連絡協議会
8	木村 秀二	作草部保育園	23	藤川 勇	稲毛区町内自治会連絡協議会 ○
9	工藤 嘉生	千葉市老人クラブ連合会	24	松井 利之	千葉市身体障害者連合会
10	黒川 武	千葉市社会福祉協議会轟・穴川地区部会	25	松川 智子	公 募
11	後藤 育子	千葉市手をつなぐ育成会	26	松原 正道	公 募
12	島田 誠三	千葉市社会福祉協議会小中台東地区部会	27	矢田 房子	公 募 ●
13	嶋田 治雄	稲毛区民生委員児童委員協議会	28	山崎 弘子	千葉市ボランティア連絡協議会 ●
14	鈴木 金作	稲毛区町内自治会連絡協議会	29	山田 敏子	ファミリー・サポート・センター会員
15	鈴木 順子	千葉市社会福祉協議会301地区部会	30	渡邊 志げ子	千葉市社会福祉協議会千草台中学校地区部会 ◎

◎：委員長 ○：副委員長 ●：広報委員

◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇

年を追うごとに地域福祉の必要性が広く理解されてきたようで、各地区部会や自治会等でいろいろ工夫した取り組みが紹介されています。私の住む自治会も先進事例を参考にしながら支え合いの仕組み作りを検討中です。

推進協では、今年度は分科会に分かれて重点項目を話し合います。その結果を踏まえて各地区で新たな取り組みが広がることを願っています。
(広報委員 山崎弘子)